

総務産業委員会行政視察報告

期日:平成28年8月22日(月)~24日(水)

研修先・研修内容

長崎県長崎市 国際観光客誘致プロジェクトの概要
 受入れ体制整備の具体策
 外国語メニュー作成支援サイト「EAT長崎」
 福岡県春日市 動物愛護制度



長崎市では、アジア・国際観光戦略にて、外国人観光客誘致に取り組んでおり、平成27年度の年間観光客数は669万人、観光消費額1,368億円とともに過去最高となりました。その背景には、観光推進課が海外旅行代理店と連携して行う市のPR、韓国・釜山に職員を派遣しての情報収集、職員自らが海外にセールスに行くなどの熱心な取り組みがありました。規模の違いはあるものの、笠間市の観光においてもインバウンド効果を高めるためには積極的な海外等へのアプローチが必要と感じました。

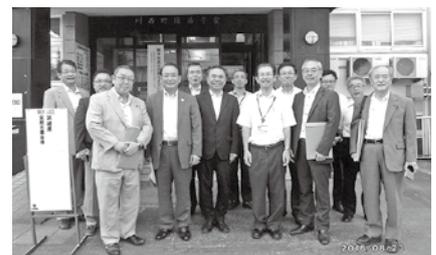
春日市では、「飼い主のいないねこ不妊去勢手術補助金」制度を制定し、手術費用の一部を助成しています。飼い主のいないねこの過剰な繁殖を減らすため、市民や地域の有志が地域住民の理解と協力のもと、手術を行い、新しい飼い主を探すことで将来的に減少させていくことを目的としているとのこと。予算規模、補助金額を拡大したことにより申請件数も増加しており、このような制度を制定している自治体も多く見られることから、事業効果がうかがえます。笠間市においても、動物愛護の意識を高め、地域の快適な生活環境保持を目指した制度創設の必要性を感じました。

広報委員会行政視察報告

期日:平成28年8月23日(火)

研修先:山形県川西町議会

研修内容:議会だよりの取り組み



議会広報全国コンクールにおいて2年連続最優秀賞を受賞された、山形県川西町議会を視察研修してきました。

川西町の「議会だより」は、定例会終了後の翌月15日の発行を厳守しており、定例会の会期中から編集作業を進めるなど、会議結果等をなるべく早く、市民にお知らせするための努力をされていました。

また、市民の目線に立って、いかにわかりやすい広報紙となっているか、常に検証する体制が構築され、議会と市民が一体となった「議会だより」づくりを目指し、議会等に対する意見をもらう「広報モニター」、紙面への写真掲載については写真の愛好者、文章等では教員経験者などを公募し「広報アドバイザー」として意見や助言を受けるなど、斬新な取り組みがなされています。今回の視察研修の成果として、川西町の優れた紙面づくりや取り組みを積極的に取り入れ、笠間市議会でも、見やすく、読んでみたくなる議会広報紙となるよう、さらに改善していきたいと思えます。

教育福祉委員会行政視察報告

期日：平成28年10月4日(火)～6日(木)

研修先・研修内容

大阪府高槻市 子育て総合支援センター「カンガルーの森」
摂津市 スクールソーシャルワーカー等の活用事例
泉南市 地域包括ケアシステムの取り組み



高槻市では、子ども未来部子育て総合支援センター「カンガルーの森」を見学し、市の子育て支援施策における変遷と現状について伺いました。平成19年に子育て支援の中心を担う拠点施設として「カンガルーの森」を駅前に設置し、研修・研究機能、情報発信機能、交流機能、相談機能の場を提供しています。そこでは保健師・保育士・社会福祉士・臨床心理士など専門職が中心に配置され、運営内容の充実が図られていました。

摂津市では、小中学校で抱える課題「虐待・不登校・いじめ・暴力行為」への対応が急務と考え、スクールソーシャルワーカーを配置し、学校と家庭だけでなく、関係機関との連携を深め、課題解決を図っています。また、スクールソーシャルワーカーへの支援体制として、スーパーバイザーからの助言やスクールソーシャルワーカー連絡会や協議会を定期的実施しており、学校におけるきめ細かな対応を進めていくうえでとても大切なことと感じました。

泉南市では、「WAO（輪を）！SENNAN W：忘れても だいじょうぶ、A：あんしんと、O：おもいやりの町 せんなん」を合言葉に、認知症ケア＝地域包括ケアとの位置付けで地域福祉力の再生を通じた地域包括システムへの取り組みを進めています。大阪府内で人口に占める認知症サポーター数の割合では、泉南市は20%を超えダントツに1位であるのは、地域住民への理解をしてもらうために、さまざまな事業の中で多角的な啓発活動を行ってきた成果であると言われていました。認知症ケアにおける地域支援体制は、啓発し続けることが大切であると感じました。

建設土木委員会行政視察報告

期日：平成28年10月5日(水)～7日(金)

研修先：北海道北斗市、札幌市

研修内容：北海道新幹線『新函館北斗駅』周辺整備状況
石狩川の治水の歴史と洪水に備えた取り組み



新函館北斗駅周辺整備は、新駅開設に併せ、駅前の13.5haを区画整理し、住宅街区や企業誘致用地、駐車場用地などが整備されていますが、まだ半分近くが空き地の状況であり、今後の課題であります。また、新駅には市が管理する観光交流センターが併設され、新幹線利用による観光客への情報発信により、函館市や湯の川温泉などへの誘客にも効果を上げていました。

次に、石狩川の治水・氾濫対策では、広大な低平湿地を蛇行して流れるため、大正7年から捷水路工事（河川のバイパス工事）がはじまり、昭和44年には現在の石狩川の骨格が形成されました。これにより農地開発や市街地整備が進み、流域人口は、明治30年頃の約7倍の313万人に拡大し、これまでに堤防整備やダム、遊水地などの治水対策だけでなく、堤外地の環境保全にも取り組み自然環境の再生にも力を入れてきました。水害対策では、災害から人命を守り、減災のための防災行動（いつ、誰が、何を）を時系列にした「タイムライン」が、先の台風10号で効果を上げたことを確認できました。

議会運営委員会行政視察報告

期 日:平成28年10月18日(火)~19日(水)
 研 修 先:滋賀県大津市議会
 研修内容 ①政策検討会議 ②大学とのパートナーシップ協定



笠間市議会でも政策立案機能の充実にに向けた検討を

「政策検討会議」は、政策立案を目標に具体的な調査・研究を行い、各会派から選出した議員によって構成されています。合わせて議員全員による政策検討会議全体会も設置され、検討会議での経過報告を受けて、議会全体でも協議が行われています。調査研究や条例案の検討・作成にあたっては市の関係部局だけでなく、参考人招致や公聴会が必要に応じて開催され、「政策アドバイザー制度」によって、大学との連携も行われていました。「政策アドバイザー制度」とは、政策立案機能向上のための大学との連携制度です。これまで龍谷大学、立命館大学、同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科と「パートナーシップ協定」が結ばれ、条例策定にあたっての講師紹介や、議会報告会のファシリテーター派遣、インターンシップ学生の受け入れなどが行われています。とりわけインターン生の受け入れは、大学側にとってメリットになっているということです。笠間市議会でもこうした取り組みに学び、政策立案機能の充実にに向けた検討を始める時期に来ているのではないのでしょうか。

笠間市議会の本会議を見ませんか

本会議の様子をインターネットで生中継および録画配信しています。
 また、議員名やキーワードなどから会議録の検索ができるようになりましたので、ぜひ、ご利用ください。

笠間市 または 笠間市議会 🔍 検索

笠間市ホームページのトップページ

右上の① **行政情報** → ② **笠間市議会** または下部のスクロール画面③ **笠間市議会** をクリック



→ ④ **会議録検索** ⑤ **議会中継** を選択してクリック

→ ⑥ ご覧になりたい部分を選択してクリック



※生中継は本所・各支所に配置されたテレビでもご覧いただけます。